



日常風景

町長 大谷隆照

「愛と死を見つめて」の作者、大島みち子さんは、日記の中で次のようなことを書いています。

「病院の外に、健康な日を三日下さい。一日目、私は故郷に飛んで帰りましょう。そして、おじいちゃんの肩をたたいて、それから母と台所に立ちましょ

う。おいしいサラダを作って父にアツカンを一本つけて、妹達と楽しい食事を囲みましょう。二日目、私は貴方の所へ飛んで行きたい。貴方と遊びたいなんて言いません。お部屋を掃除してあげて、ワイシャツにアイロンをかけてあげて、おいしい料理を作ってあげたいの。そのかわりお別れの時、やさしくキスしてね。三日目、私は一人ぼつちで思い出と遊びます。そして静かに一日が過ぎたら、三日間の健康ありがとう、と笑って永遠の眠りにつくでしよう」

ここには何の特別なことは書かれていません。健康な人にとって、全てありふれた当たり前のこととして日常生活の中で営まれていることばかりです。そして、この女性は当たり前のありふれた日常生活の中にこ

そ、生きるこの意味と尊さがあるということを教えてくれます。

先頃亡くなった、テレビ演出家の久世光彦さんのドラマ「寺内貫太郎一家」では毎日家族全員で囲む食卓のシーンが有名だったそうです。

このドラマは、やはりもう亡くなった向田邦子氏の脚本だそうです。お二人とも家族の食事の風景に非常にこだわりをもっていたそうです。日本人のあり方の原点を食卓を囲む家族の中にあるということをお二人とも考

えていたようです。この二つのことから、私は改めて日常生活について考えさせられました。私はこのところ不眠症で悩んでいます。しかし、夜になって時間がくればあたり前のごとく床につくわけですが、これもあと何回夜を迎えられるか分からな

いと思えば、不眠症もありがたく思えてきます。食事もある何回食べられるか分からないと思えば、出された料理が多少ま

ずくてもおいしく思えてくるはずなのですが…。

思いやりの心で明るい社会を

「自分の命を大切にしよう」

五霞中学校 1年生の作文

昨年、僕のおじさんが亡くなった。死因は肺ガンで、まだ36歳だった。おじさんはすぐく水泳が上手で、小さい頃から水泳一筋、オリンピックの強化選手にも選ばれるくらいだった。また、おじさんは車が大好きだった。車のことなら何でも知っていて、自分の車の修理もお手のものだった。我が家に遊びに来ても、いつも車の側にいて、ここにこしながら洗車している姿が今でも目に浮かぶ。

そんなおじさんの病気が見つかったのは3年前。発見された時にはもう手遅れだった。余命8カ月という宣告を受け、手術もできない状態にもかかわらず、おじさんはあきらめないでガンと戦い続けた。抗ガン剤の副作用による吐き気や痛み、脳への転移など、僕には想像できない

ほどの苦しみだったと思う。オリンピックを目指していた時より、もっともつと強い「生きたい」という意志と勇気を持って戦い続けた。

おじさんには、まだまだやりたいことがたくさんあったと思う。もっと車のことをやりたかっただろうし、まだ結婚したばかりだったので、子どももほしかっただろう。やり残したことがいっぱいあったと思う。それでもおじさんは、生き続けることができなかった。

世の中には、自分で自分の命を絶つてしまう人もたくさん存在するの事実だ。確かに死にたくなるほどつらい気持ちになることもあるだろう。この人たちをすべて否定することはできない。

しかし、どんなにつらい思いをしても、命を粗末にしてはいけない。生きたくても生きられない人もいる。人の命を他人が絶対権利がないのと同じように自分の命を絶つ権利はない。将来、僕もつらい思いをする時が来るかも知れない。もし、いじめにあつたらどうなるだろうか。たぶん学校に行きたくなくなるだろう。でも、そんな時はおじさんのことを思い出して、どんなにつらくてもそれに負けずに生きていきたい。最後まで戦つたおじさんのように…。

産業廃棄物・土砂等埋立てに係る立入り検査権が町職員に付与されました

2月1日付、茨城県知事から辞令が交付され、役場生活環境課青木係長が茨城県併任職員として任命されました。

主な職務は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく「産業廃棄物に係る立入り検査権等」及び茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例に基づく「土砂等による土地の埋立てに係る立入り検査権等」を付与することにより、県と町の連携を一層強化し、廃棄物及び土砂等による土地の埋立て等の不適正処理事案の早期発見、並びに早期対応に努めるものです。

本町でも、道路の片すみや空き地、田畑等へのゴミの不法投棄や、産業廃棄物等の不適正搬入の事案等が発生しています。

町の環境破壊を未然に防止するため、町内でゴミ類の不法投棄や産業廃棄物等の不適正搬入等を見かけた場合は、その自動車登録番号を通報していただきますようご協力をお願いします。

お問い合わせ

生活環境課 ☎(84)3618